

# 美しい 県土づくりNEWS



2009年  
4月

岩手県県土整備部  
手づくり広報誌 57号  
平成21年4月17日発行  
編集 県土整備企画室

## 目次

- 2 いわて花巻空港 新ターミナルがオープンしました
- 4 県内で冬期通行止め区間の除雪作業が進んでいます
- 6 県内の主要観光地を結ぶ観光ルートの強化を図ります
- 7 宮古港海岸鎌ヶ崎地区の津波対策事業に着手
- 8 重要港湾大船渡港永浜地区の-13m岸壁が完成しました
- 9 一般国道340号高田バイパス(竹駒工区)開通
- 11 一級河川元町川の「多自然川づくり」による災害関連事業が完了
- 13 県立都市公園 平成21年度オープンのお知らせ



## ～いわて花巻空港 新ターミナルがオープン！！～

4月9日にいわて花巻空港の新ターミナルがオープンし、岩手県の「空の玄関」が生まれかわりました。新ターミナルビルは、国内線と国際線の旅客の動線分離による混雑解消やユニバーサルデザインにも配慮し、高齢者や障がい者の方など、どなたでも快適に利用できます。空港ターミナルの機能向上により、利用者の利便性向上や、国際チャーター便の誘致拡大などが期待されます。

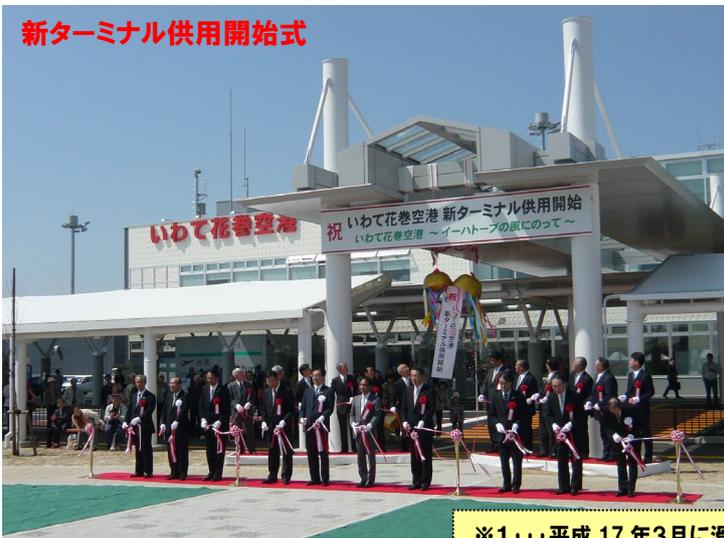


～花巻空港のイメージキャラクター～  
「はなっぴー」





**新ターミナル供用開始式**



4月9日にオープンした「いわて花巻空港」の新ターミナルについて、その概要をご紹介します。

**1 はじめに**

いわて花巻空港は、

- ①冬期の安全性、就航率の向上※<sup>1</sup>
- ②ターミナル※<sup>2</sup>のサービス向上
- ③国際チャーター便の運航拡大※<sup>3</sup>

の3つの目的で平成 10 年度から段階的に整備を行ってきました。

- ※1・・・平成 17 年3月に滑走路を 2,000m から 2,500m に延長
- ※2・・・エプロン、誘導路、駐車場は県で整備  
旅客ターミナルビル、貨物ターミナルビルは岩手県空港ターミナルビル(株)で整備
- ※3・・・大型機が就航できるように平成 21 年度から平行誘導路の整備を再開

**2 新ターミナルの特徴**

**■ ユニバーサルデザインへの対応**

ターミナルビルや駐車場は、高齢者や障がい者の方など、どなたでも快適に利用できます。

新ターミナルの整備にあたっては、花巻空港新ターミナルビル建設等協議会（座長：河川港湾担当技監）を平成 19 年度に立ち上げ、より使いやすい施設となるよう取り組みました。特に、ユニバーサルデザインに特化したワークショップを計6回開催し、障がい者の方々からの様々なご意見を整備に反映しました。



ワークショップの様子



到着手荷物受取所(国際線と国内線の分離)

国際線

国内線

**■ 国際線施設の整備**

国際線と国内線との動線分離、広い待合室や税関等入出国手続き施設の整備により、安全で快適に海外へ出発することができます。

■ 駐車場の整備

年末年始や夏休みなどの利用者が多い時でも駐車できるように、現在の約2倍の1,150台が駐車できるようにしました。もちろん、今まで通り無料となっています。

■ エプロンの整備

これまでは中型ジェット機までの駐機でしたが、新エプロンは、ボーイング 747 ジャンボ旅客機などの大型ジェット機も駐機することができます。(大型ジェット機の就航は、平行誘導路の整備後になります。)

3 新ターミナルの供用開始セレモニー

■ 一番機歓迎セレモニー



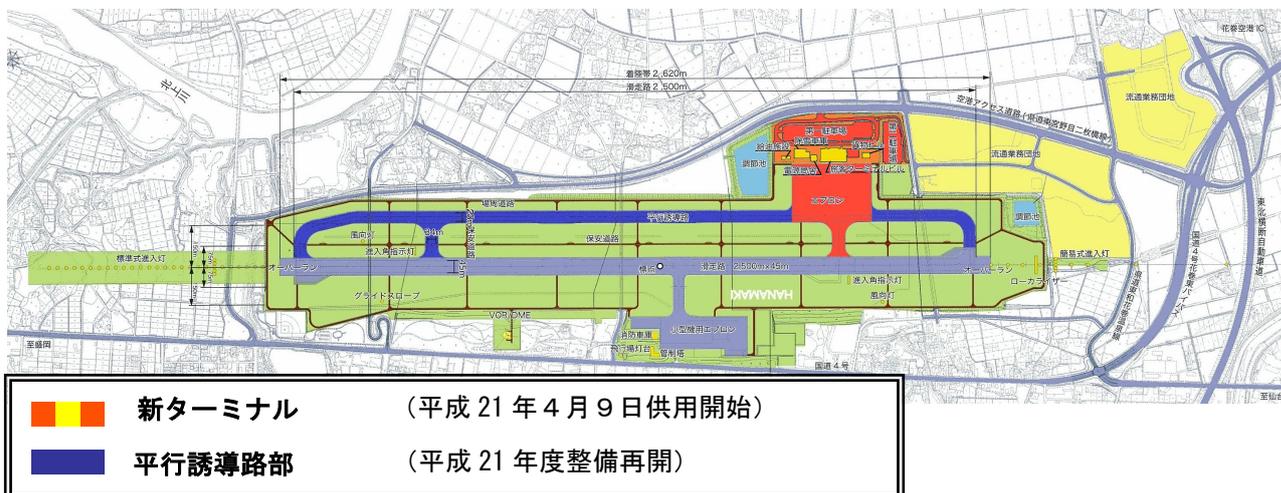
■ いわて花巻空港供用開始式

晴天の下、「鹿踊り」を皮切りに供用開始式が開催されました。達増知事のあいさつ、野間国土交通省東京航空局長、渡辺岩手県議会議員長の祝辞に続き、テープカット、くす玉開被を行いました。



4 今後の空港整備について

平成 21 年度から、いわて花巻空港の最後のステップである平行誘導路の整備再開を予定しており、完成後は、世界文化遺産登録予定の平泉を訪れる人々などをのせた大型ジェット機が就航できるようになります。今後とも早期供用開始を目指して整備を推進してまいります。



## 県内で冬期通行止め区間の除雪作業が進んでいます！！

道路環境課

### 1 はじめに

岩手県では、春の訪れと共に、積雪により冬期通行止めとなっていた 21 路線 35 箇所について除雪を進めており、現在も 8 路線 13 箇所で行っています。

そのうち、「八幡平アスピーテライン」では、観光 PR と観光客の増加による地元への経済波及効果を期待して、開通予定日の公表をこれまでで最も早い 2 月 6 日に行い、4 月 17 日に岩手・秋田両県ではじめて同時開通を行いました。また、岩手・宮城内陸地震で被災した国道 342 号については、早期に復旧工事に着手するため、例年より一週間早く除雪作業を開始しています。

昨年度の降雪量は、平野部においては例年より少ない状況でしたが、現在除雪を進めている山間部では、例年並みの積雪 5m 程度を確認しております。



## 2 主な路線における除雪の進捗状況と開通予定日

今後は、除雪作業のほか、ガードレール、カーブミラーなどの道路安全施設の取付作業や雪崩に対する安全性を確認しながら、早期に開通できるように作業を進めてまいります。

なお、開通予定日は、今後の気象条件などによって、遅れることがありますので、ご注意願います。

平成21年4月17日現在

路線名	冬期通行止延長(km)	進捗率(%)	開通予定日
アスピーテライン (主要地方道大更八幡平線)	10.6	100%	4月17日開通
一般県道夏油温泉江釣子線	5.8	90%	5月14日
国道397号	15.9	79%	5月11日 (片側交互通行有り)
国道342号	15.3	90%	—



### 【冬期通行止めの解除予定】

冬期通行止めの解除予定については、道路環境課HPでお知らせしております。

ホームページアドレス：<http://www.douro.com/>

## 県内の主要観光地を結ぶ観光ルート強化を図ります！！

～「岩手県全域(観光) 広域的地域活性化基盤整備計画」が認められました～

### 県土整備企画室

地域の活性化に必要な基盤整備とソフト事業を民間プロジェクトなどに合わせて、タイミング良く効率的に実施する制度として、平成19年度に「地域自立・活性化総合支援制度」ができました。

本県では、平成20年度からこの制度を活用しておりますが、平成21年度からの新規計画として、本県が作成した「岩手県全域(観光) 広域的地域活性化基盤整備計画」が国土交通大臣から認められました。本計画により、県内の主要観光地を結ぶ観光ルートの交通支障箇所の解消などにより、観光を支える交通ネットワークなどの強化を図っていきます。

### 地域自立・活性化総合支援制度の概要

平成19年8月に施行された「広域的地域活性化のための基盤整備に関する法律」に基づき、都道府県が作成する広域的地域活性化基盤整備計画(3年～5年)が国に認められた場合、計画に基づき実施される事業の費用に充当するために、国土交通大臣から都道府県に対して交付金が交付されます。(交付率約45%)

計画のプロジェクトイメージとして「観光活性化」、「生産物流機能の強化」等があります。

### 岩手県全域(観光) 広域的地域活性化基盤整備計画の概要

平成23年の世界遺産登録を目指している平泉や日本の原風景として知られる遠野郷、陸中海岸国立公園などの岩手県内の豊富な観光拠点への交通アクセスの向上を図るとともに、多種多様な地域資源が存在するにもかかわらず、回遊ルートが確立されていない県北・沿岸地域への更なる観光交流の拡大を目指します。

#### 県内周遊ルートにおける、交通の支障箇所の解消！



#### ＜事業概要＞

##### 【計画期間】

平成21年度～平成25年度  
(5年間)

##### 【主な事業(基幹事業)】

河川:3箇所  
道路:95箇所  
港湾:1箇所

##### 【全体事業費】

8,839百万円  
(国費:3,977.55百万円)

##### 【平成21年度事業費】

2,071.8百万円  
(国費:932.31百万円)

## 宮古港海岸鎌ヶ崎地区の津波対策事業に着手！！

### 河川課

宮古港海岸鎌ヶ崎地区は、明治29年の明治三陸地震津波や、昭和8年の昭和三陸地震津波等の被害を受けている地区ですが、古くから漁業や物流の中心地であったため、水産加工所や住宅などが密集しており、防潮堤建設の余裕地が少なく、また生活環境や景観等に大きな影響を与えることが心配されたことなどから、これまで防潮堤等の整備が行われてこなかった地区です。

しかし、近い将来、宮城県沖を震源とする地震の発生が高い確率で予測されており、市民の災害に対する危機感や防災意識、津波対策施設の整備に関する要望の高まりを踏まえて、平成21年度から事業に着手することとしました。

早期に住民の皆様の安全・安心を確保できるように、事業を進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

<平面図>



鎌ヶ崎地区 (全景)



# 重要港湾大船渡港永浜地区の-13m岸壁が完成しました！！

～県内最大級の大型船が接岸、「試験荷役」を実施～

## 大船渡地方振興局土木部

平成21年4月10日、大船渡港で永浜地区水深-13m岸壁の完成記念式典と、第一船接岸記念式典が行われました。

今回完成した永浜地区の水深-13m岸壁は、県内の港湾の中で最も水深の深い公共岸壁であり、大船渡港では2箇所目の水深-13m岸壁です。この岸壁は、平成6年度から国直轄事業で整備を進めてきたものであり、完成まで15年の歳月を要しました。

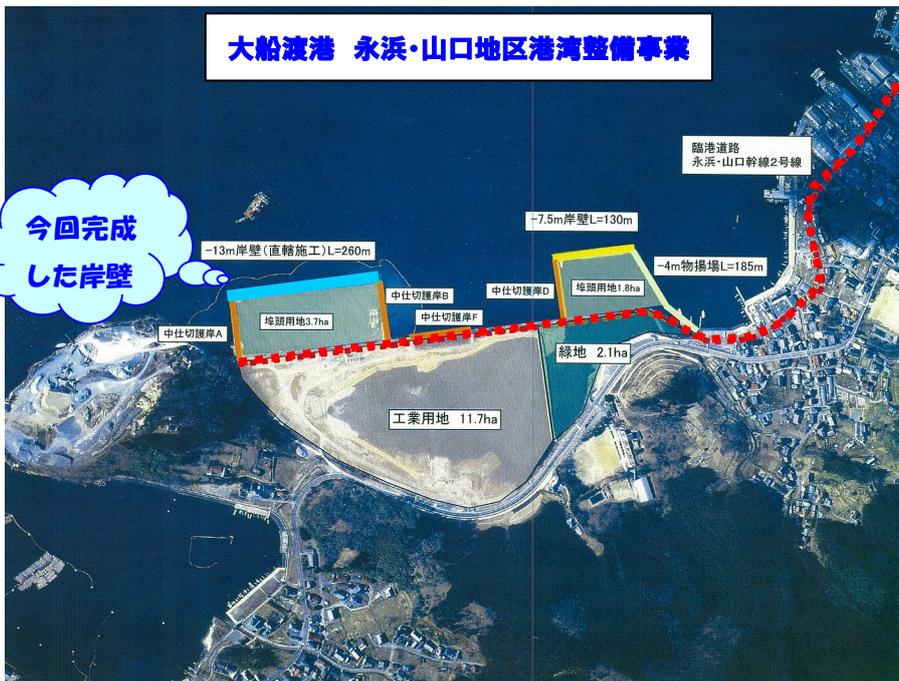
また、今回第一船として接岸した大型船「HAYAMA STAR」は、搭載重量5万2千900トンで過去に県内港湾の公共岸壁に接岸した中で最大級の船舶です。(船長：188.5m、船幅32.3m、満載喫水12.163m)

今回の接岸は、港内の航行安全性や環境への影響などを検証する「試験荷役」が行われたもので、太平洋セメント(株)大船渡工場の燃料であるオイルコークス約5万トンを積載し、3月下旬にアメリカのロングビーチを出港、長い船旅の末、大船渡港に入港したものです。今回の「試験荷役」は大船渡港へ入港する大型船舶の増加につながるものと期待されています。

また、大船渡港では、現在、県が水深-7.5m岸壁、港湾貨物の荷さばき場所としてのふ頭用地、当該地域へのアクセスとしての臨港道路、企業立地のための工業用地などの整備を進めており、大船渡港がより一層利用しやすい港湾となるように大船渡市と連携しながら、港湾の振興を図ってまいります。



記念式典の様子



接岸した大型船「HAYAMA STAR」



# 一般国道340号高田バイパス（竹駒工区）開通！！

大船渡地方振興局土木部

平成10年度から整備を進めてきました国道340号の高田バイパス（竹駒工区）が平成21年3月25日に開通しました。

これまでの道路は、幅員が狭く、急勾配でカーブが連続していたため、交通の隘路となっており、観光シーズンの交通渋滞や、積雪・凍結時に登坂できない車両が発生するなど地域の生活や経済活動に大きな支障が生じていました。

本工区の開通により隘路の解消が図られるとともに、三陸縦貫自動車道と連携し、物流支援、地域間交流、観光地へのアクセス向上等にも重要な役割を果たすものと期待されています。

## <位置図>



### 【事業概要(竹駒工区)】

計画延長:L=1,840m

計画幅員(全幅員)

両側歩道部:W=16.5m

片側歩道部:W=12.5m

(うち車道幅員:W= 6.5m)

設計速度:60km/h

総事業費:約 22.6 億円

事業期間:平成10年度～平成20年度



### ◆高田バイパス（竹駒工区）に合わせ「市道相川鳴石線」も同時開通！！

また、陸前高田市からの受託工事により、平成11年度から整備を進めてきました市道相川鳴石線も高田バイパスと同時に開通しました。

国道340号と立体交差となる充腹式アーチ橋（橋長L=62.0m）の命名に当たっては、地域住民の方々に参加してもらい、故郷の道を愛する心を育んでもらおうとの考えから、平成16年度に地元の陸前高田市立第一中学校の全校生徒を対象に橋名を募集しました。多数の応募作品の中から、近くの氷上山にちなんだ「氷上橋（ひかみはし）」が選定され、開通式には、名付け親となった当時の生徒8人も参加し、橋名由来碑の除幕式が行われました。

#### ■テープカットの様子



#### ■中里陸前高田市長と高橋大船渡地方振興局長を先頭に氷上橋の渡り初め



#### ■橋名由来碑除幕式の様子



# 一級河川元町川の「多自然川づくり」による災害関連事業が完了！！

盛岡地方振興局土木部 岩手出張所

## 1 はじめに

岩手郡葛巻町の一級河川元町川では、平成 18 年 10 月に県北部を襲った豪雨（葛巻町では初となる避難勧告も発令）により流域全域で甚大な被害が発生したことから、約 4.5km の区間について河川等災害関連事業を導入し、平成 19 年度から整備に取り組んでまいりました。

整備にあたっては、「多自然川づくり」の考え方を取り入れ、ふるさとの川を再生できるように工事に取組み、平成 21 年 3 月末に事業が完了しました。



<位置図>



## 2 事業のポイント

今回の事業のポイントとして、「多自然川づくりアドバイザー制度」を導入したことが挙げられます。本制度より、専門家の方から河川計画や自然環境についてご助言をいただきながら、自然環境に配慮した多自然川づくりを進めることができました。

工事の実施では、専門家による現地指導により、瀬・淵及び濬筋の復元に努めたほか、護岸部にはコンクリートが目立たないように覆土等を行ったことや、護岸工などの基礎部には河床材を利用して寄州・堆積域を創出したことなどにより、河川景観・生物の生息環境に配慮しました。



### ◆◆◆川づくりアドバイザー制度とは??

災害後の河川改良復旧事業は、一連区間の整備を大規模かつ短期間を実施するため、周辺環境に与える影響が大きくなります。

このことから、自然環境に配慮した「多自然川づくり」を効果的に推進するため、国土交通省が平成 17 年度に創設した制度で、事業者からの求めに応じ、専門家が派遣されるものです。

護岸天端・吾州に配慮した施工状況



根継天端・山付に配慮した施工状況



また、中間部の約 300m 区間は、動植物の重要種や注目種が集中していることや、いくつかの支流が合流し、多種多様な自然環境を形成していることなどから、護岸工などはつくりず洪水の氾濫を許容し、氾濫域を河川区域として用地取得することで周辺環境の保全を図りました。

中間部(約 300m 区間)の環境保全状況



### 3 おわりに

今回の事業では、多自然川づくりアドバイザーのほか、地域住民の方々からも「川づくり懇談会」を開催してご意見やご要望をいただきました。また、環境への影響をより小さくするため、事前の環境調査を踏まえた環境検討委員会からの意見や提言も考慮して、周辺環境に配慮した川づくりに努めました。

現地での施工は今年3月で完了しましたが、今後は、環境モニタリング調査などにより、河川環境・生態系の復元状況などの確認を継続していきたいと考えています。

整備後の元町川



## 県立都市公園 平成21年度オープンのお知らせ

都市計画課

### 御所湖広域公園

御所湖広域公園 平成21年4月 1日(水)  
乗り物広場 平成21年4月11日(土)

御所湖広域公園では、下記の日程で  
“無料開放 Day”を実施します。  
ファミリーランドの有料施設(パターゴルフ他)、  
野球場、テニスコートが無料となりますので、  
是非御利用ください。

#### ★ 無料開放 day ★

5月 4日(月) みどりの日  
7月 26日(日) 御所湖まつり  
10月12日(月・祝) 体育の日

問合せ先:御所湖広域公園管理事務所  
TEL 019-692-4855

### 花巻広域公園

花巻広域公園 平成21年4月 1日(水)  
県民ゴルフ場 平成21年3月21日(土)

花巻広域公園では、下記の日程で  
“無料開放 Day”を実施します。  
テニスコートが無料となりますので、  
是非御利用ください。

#### ★ 無料開放 day ★

5月 4日(月) みどりの日  
7月 20日(月・祝) 海の日  
10月12日(月・祝) 体育の日

問合せ先:花巻広域公園管理事務所  
TEL 0198-27-3586

## 県民ゴルフ場 春季特別料金のご紹介!

3月・4月謝恩特別料金 (手動カート・利用税・保険込)

平日 3,000 円  
土日祝 4,000 円

※電動カート使用料は別途料金となります。

★ 詳しくは【県民ゴルフ場】までお問い合わせください。 TEL 0198-27-3280